

第9表

乖離率計算書

1 乖離率（補正前）

項目	値	備考
想定原価(百万円) (①)	1,331,806	
想定需要量(百万kWh) (②)	256,996	
想定単価(円/kWh) (③=①/②)	5.18	
実績費用(百万円) (④)	1,281,849	
実績需要量(百万kWh) (⑤)	248,392	
実績単価(円/kWh) (⑥=④/⑤)	5.16	
乖離率(%) ((⑥/③)-1)×100	△ 0.39	

(注)

1. 乖離率計算書に表示される想定原価

乖離率計算書に表示される情報のうち想定原価は、「第3表(注)1. 送配電部門収支計算書等の作成基準」に従い、かつ平成28年度以降の託送供給等約款料金の制度変更を反映するため、平成25年4月2日に経済産業大臣に届け出た託送供給約款における料金設定の際に整理された送配電関連原価の合計額に2を乗じて得た額に平成28年7月28日に経済産業大臣に届け出た託送供給等約款における料金設定の際に整理された送配電関連原価の合計額に1を乗じて得た額を加えた額を3で除した額を記載している。

2. 乖離率計算書に表示される想定需要量

乖離率計算書に表示される想定需要量は、「第3表(注)1. 送配電部門収支計算書等の作成基準」に従い、平成25年4月2日に経済産業大臣に届け出た託送供給約款における料金設定の際に整理された送配電関連需要の量を記載している。

2 乖離率（補正後）

項目	値	備考
補正後実績費用(百万円) (⑦)	1,281,646	
補正後実績需要量(百万kWh) (⑧)	248,343	
補正後実績単価(円/kWh) (⑨=⑦/⑧)	5.16	
補正後乖離率(%) ((⑨/③)-1)×100	△ 0.39	

(注)

1. 記載注意1に係る補正を行う費用項目については、一般送配電事業託送供給等約款料金算定規則において送配電関連可変費として整理されるものとした。

2. 記載注意2に係る補正後実績需要量については、電力広域的運営推進機関の定める「需要想定要領Ⅲ. 3 気温補正」により補正した量とした。